

## 「+ESD プロジェクト」について

### 1. ESD (Education for Sustainable Development : ESD) とは

ESD (「持続可能な開発のための教育」) とは、環境、人権、健康福祉、多文化共生、まちづくりなどをテーマとして、NPO、学校、企業などが行う持続可能な社会づくりに向けた人づくりにつながる活動のことです。

2002年のヨハネスブルグサミットにおいて日本が提案し国連総会で採択された「国連持続可能な開発のための教育の10年」(ESDの10年: DESD=Decade of Education for Sustainable Development)が2005年にスタートしましたが、今年から後半の5年に入り、今後ますますの発展が期待されています。

現在の世界が抱える様々な問題を解決するためには、社会を構成する私たち一人ひとりが、人と人、人と社会、人と自然のつながりを取り戻し、地域づくりや社会変革などの活動に参画する力を育むこと、そして未来を築く「人」を育むことを各地で活性化していくことが重要です。しかし、このような取組は地域によって差があり、また、その重要性がすべての人々に認識されているわけではありません。社会を持続可能なものとするためには、これらの取組をつなげ、社会全体の取組として大きく発展させること、そして様々な分野での取組をつなぐことにより地域や社会の課題を解決する力を強めていくことが大切です。

(参考) 国連持続可能な開発のための教育の10年 環境省ホームページ

<http://www.env.go.jp/policy/edu/desd.htm>

### 2. 「+ESD プロジェクト」の目的

そこで、持続可能な社会に向けた人づくりや活動の見える化、つながる化により、これら地域の活動をさらに活性化するとともに、そのような活動が他地域にも広がることで、地域社会や地球規模の課題解決に向けた住民と地域の力が高まることを目指します。

### 3. 「+ESD プロジェクト」の概要

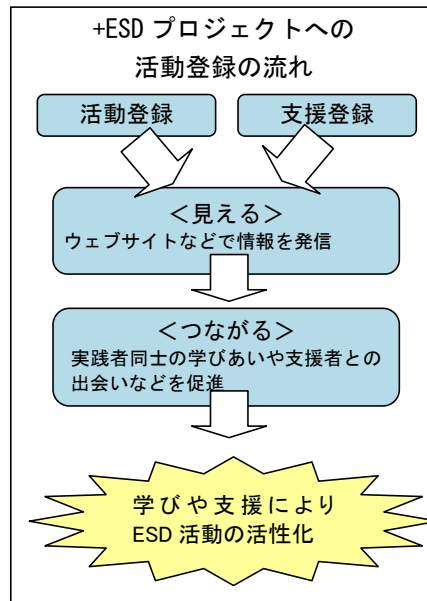
活動の実践者や支援者が制度の趣旨に賛同し、ESD活動と自ら実践する活動の方向性が一致すると考えられるなら、その活動を「未来をつくる人づくり活動 (ESD活動)」または「ESDの支援組織、活用可能な支援事業」として、その活動や組織の情報を登録していただき、これらの見える化、つながる化を進めることにより、ESD活動の活性化を図るものです。

### 【見える化】

実践されている ESD 活動をウェブサイトに登録していただくことにより、地域毎、活動分野毎等で検索が可能となるなど、ESD 活動がより分かりやすく発信できます。

### 【つながる化】

ウェブサイトでの発信により、ESD 活動の連携・交流の推進、支援活動等の進展が期待されます。また、ESD 活動を行う団体と ESD 活動の支援者（財団、企業、行政等）が地域毎に集うフォーラムを開催し、これにより、実践活動の事例発表や学びあいを行うとともに、支援者や他団体と連携するきっかけづくりを目指します。



### 【参加のメリット】

- ・ウェブサイト等による地域の活動の全国発信や、+ESD ロゴマークの利用を通じた ESD 活動の認知度向上
- ・地域内外における分野を越えた交流、連携の機会
- ・支援者との出会いに関する積極的な働きかけ、活動の発展の機会
- ・活動に役立つ情報や活動のヒント、人材育成等の情報

(参考) 「+ESD プロジェクト」ウェブサイト (<http://www.p-esd.go.jp/>)